

箱根組ニュース

第317号 2019年5月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入つて山に登りましょう！

新緑の奥多摩を歩き海沢公園で野草天ぷら、新潟から山菜持参の田村さんと久しぶりに歩く。

4月27日土曜日、東京駅発6時30分の快速青梅行きに乗車。

朝方までの雨で天候の心配があったが予報では9時頃から上がるとの事。青梅で乗り換えて白丸駅に8時45分着。降り立ったのは、太田、星野（幸）、坂巻、川名夫妻、有倉、田村、拝原、神山、及川、星野、戸丸の12名。駅ホーム前方のトイレを利用する。

8時55分、駅前から歩きだす。白丸駅は少し高い位置にあり、まずは急な階段を下り下の広場で自己紹介と坂巻さん指導のストレッチをする。

9時12分、出発。新緑の山々は芽吹いたばかりで淡い緑が美しい。緑色はこんなにもいろんな色があると再認識する。まるでグリーンサラダの様だ。

青梅街道を右に奥多摩駅方向に進む。右に奥多摩温泉もえぎの湯の大きな看板、車で4分とある。その上にまた大きな看板でレストランの案内、至福のハンバーグとある。山には似つかないような派手な看板だ。

9時16分、ここを左に曲がる。目の

前緑の中に橋が見える。多摩川に架かる数馬峡橋だ。多摩川も源流に近く。奥多摩湖まで直線距離は7〜8キロだろう。

橋の手前左側には森の中のお肉レストランアーズガーデンの看板、こちらの看板は落ち着いた感じだ。右には一級河川多摩川、海から80、2キロと標識が建っている。

橋の真ん中で下流を見るとボートが二艘浮かんでいる。谷の両側は圧倒するほどの美しい緑の山が迫っている。上流側も見事な緑で谷の奥には御前山方面の山並みが覗いている。

橋を渡り突き当りを右に、右側にあるレストランの左をすり抜けて行く。野草を取りながら進むが、すでにこのあたりで山椒の芽やユキノシタ、三つ葉などが現れる。日差しもこぼれてきた。足元には三つ葉に交じってネコノメソウが咲いている。右側は木々の緑の向こうに深い色をした多摩川の川面が見える。

9時42分、目の前にトンネルが現れる。左側の岩肌にはイワタバコの葉が沢山ある。多摩川に沿った道を進む。



9時44分、今度は小さな橋を渡る。溪谷沿いの岩場の多い場所によくこんな道を作ったと思う。もともと昔からあった道なのだろうか。

9時50分、右側に一軒の民家。奥様らしき人がいて会釈をする。小さな畑が家の前にある。時期を過ぎた柚子が落ちている。直進は行き止まりの様で標識に沿って右に曲がる。左側にはシヤガの花が群れている。道は下つてゆき集落が現れる。柿平橋を渡る。

10時7分、右側には釣り堀、立派なピザ釜も見える。左側に数馬峠遊歩道休憩所。立派な新しいトイレがある。休憩。10時17分、出発。坂道を少し登ると都道184を左方向へ。10時26分、正面にトンネルが見える。手前の横断歩道を右に曲がりY字路を右にアメリカキヤンプ村方向

現在の収支
繰越入金 38659 円
8000 円
支出
印刷費 1000 円
コピー代 400 円
現在高 45259 円

切手残数
82円切手 177枚
40円切手 131枚

に進む。海沢沿いの車道は狭い道になる。道沿いにゼンマイなどの山菜が取れる。

10時43分、アメリカキヤンプ村前を通過。

10時58分、左側に流れていた川を越えて右側を流れるようになる。岩場の深みは美しく魚が泳いでいるのが確認できた。

すぐ目の前に小さなトンネル、100メートルほどの長さだろうか照明が無いので真つ暗だ。

11時、小さな橋を渡る。周囲は淡い緑が一杯だ。

11時8分、海沢園地まで約半分の地点で園地に行くのをあきらめることにする。少し距離が長いのと、参加者の体調を考慮しての結論だ。少し休憩して来た道を戻る。山吹の黄色がきれいだ。少し前に休憩した休憩所を右に見ながら信号を右方向へ青梅街道まで進み、突き当りの海沢大橋を左に曲がりすぐ左に曲がると戻るように小さな橋を渡る。この橋は

5月19日(日)、奥多摩の六ツ石山(1478.8m)。

レギュラーコース 歩行約6時間

奥多摩駅からバスで水根まで。奥多摩湖側から登り下山は石尾根を下り奥多摩駅を目指します。

○持ち物 お弁当、飲料水、非常食、雨具、傘、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマツチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他。

●申し込みは5月18日(金)までに

集合 5月19日(日)JR 新宿駅(11番)
6:46発 ホリデー快速おくたま1号
奥多摩行き(後ろから4両目)

(注) 前4両は「ホリデー快速あきがわ」
後6両が「ホリデー快速おくたま」
途中駅発
中野 6:50 三鷹 6:59 国分寺 7:06 立川 7:15
西立川 7:19 拝島 7:31 青梅 7:49

奥多摩駅 8:21 着 (バス乗り換え)
8:35 発丹波行き 水根 8:48 着
交通費 新宿～奥多摩 片道 1080 円
奥多摩～水根 350 円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi



たぶん昔の車道の橋だろう。左に曲がり先ほどの車道をくぐってゆくと、川名さんが予備に考えていた会場の海沢公園に到着。

12時丁度お昼のパーティーの開始。まずは東屋に陣取り持ち寄りの惣菜をベンチをテーブルに見立てて並べる。採集した野草を洗う人、大鍋でうどん蕎麦の準備。川名さんは熱燗の準備、田村

さんはアケビの蔓をゆでて調理など。天ぷらは小さなフライパンで始める。

うどんと並行して天ぷらの開始、まずは田村さんが新潟から直送のコゴミの天ぷらだ。クセがなくとても美味しい。うどんにのせれば間違いなく絶品だ。次はやはり田村さん持参のフキノトウ、丸のまま揚げてみる。ほろ苦さが春の贅沢だ。

採集したものはイワタバコの葉を揚げてみる。クセがなくこれもいける。ゼンマイ、アザミも、山椒はやはりとても美味しい。

お酒も進む。ビールに始まって熱燗、参加できなかった岩岳さん差し入れの冷酒、ワインも空けた。数本あった日本酒の4合瓶？はすべて飲んでしまったようだ。

田村さんの隣で天ぷらを揚げていたら、20年以上戻ったような気分だった。うどんの次は蕎麦に変わってやはり天ぷらと一緒に楽しむ。2時間半の大満足のパーティーが終了する。

記念撮影をして3時出発。ヤマツツジの赤い花がきれいだ。来た方向とは逆の発電所の横を登ってゆく。朝通った道が左下に見える。

都道184号を奥多摩駅に向かって歩く。民家の軒先の利休梅の白い花が美

しい。

右に奥多摩温泉もえぎの湯への道があり登山客が何名か向かっていった。橋を渡って多摩川を越えた辺りにある。

右側に新しい立派なトイレがあり小休止。左からは大岳山から降りてくる鋸尾根の下山口がつながる。橋を渡ると右にはよく言った温泉旅館。青梅街道を超えると右側に奥多摩駅。

4時過ぎのホリデー快速で帰路に就く。



